

環・太田川

2001年6月 若鮎号



目次

小林一彦の あしたはどっちだ?!	2
川の漁業史 元祖友釣りナノダ!	4

インタビューシリーズ

100%クリーン こちら夢中力発電所	8
太田川水系の両生類	10
絵画・写真で蘇る太田川	11
投稿コーナー	12
瀬音	13
いっしょにやま専科	14
環KAN学GAKU	16
オヤ??ニラミ	19
みずべの図書館・インフォメーション	20

カキ筏の曳航準備

この時期広島湾のカキ養殖は種付けの準備に追われる

ブラリスト小林一彦のあしたは

どっちだ?!

あんたが大統領?!

今のように吟醸酒がブームになる、そのちよつと前の話である当時吟醸酒というのは、まだ一部の酒飲みの密やかな嗜好であった。よくウブな友人を力モにし、「チミはほんとうの酒の奥深さを知らんよ」だ。これ、俺がひとつ、これぞ日本酒! というものをとっておきの居酒屋にて懇切丁寧にレクチャーしてあげるから、スポンサーになりなまえ。みたいなカンジで勞せずしてまんまと旨い汁いや旨い酒にありついたらことも数知れず。俺にしても同様の手口にのせられ、吟醸酒の芳醇で清楚な味わいに魅せられたひとりなんだから、まあいいじゃないですか、世界に広げよう酒飲みのワツ! てな具合。

さて、その頃の某日、男ばかり4人で、吟醸酒の鮮度や味を保つため徹底的に温度管理している評判の市内某居酒屋へ繰り出した。客も若者など皆無、酒につるさげなクセのあるオヤジ達ばかりである。ここで怯んじやいかん、虚勢をばって座敷

席にどつかと腰を降ろすなり聞こえよがしに通好みの銘柄など並べ立てて、結局安い酒を注文。そしたら、隣のテーブルにいた、どこの大会社の重役とおぼしき身なりも恰幅もいい中年男性が「ほほう、近頃の若いモンは、日本の伝統文化を少しも大事にせんと思つとつたが、あんたらにはこの酒の良さがわかるようじゃの」と声をかけてきた。ちよつと酔っていらつしやるようなので、俺らも薄ら笑いを浮かべて、「ははあ、どうもなどと曖昧に応えたのだが、中年氏は、なにを思つたか大きなゲツプなど漏らしてつこつちににじり寄ってくるではないか、ワシやあ前々からゆうちやるゆうちやる思つとつたんじや。いやほんま、最近の若いヤツらはなつとらんよ。あんたら日本の伝統をどうするつもりなんや? ええ?」

酒の席とはいえ見ず知らずのオッサンから、頭ごなしにこんな理不尽なこと言われて黙って



「無礼なことおつしやいますね。そうゆうあなたは腕に高そうなロレックスはめてらつしやるし見たところスーツも香水も眼鏡もネクタイピンもズバリ舶来でしょ。そつちこそ日本人の伝統なんて微塵もあつせんじやないですか。ファンドシ締めて着物着てゲタ履いてチョンマゲでも結つてるんなら説得力もありますがね」とやりかえすと、中年氏、逆上するかと思いきや、ウホホホ、おつもしろいことゆうなあキミは、もつと聞かせんさい。自分の席から切子のマイグラスを持つてこつちへ移ってくるではないか。なんじやこのオッサンは?!

いる俺ではない。早速、中年氏に向きなおつてしやあしやあと反撃に出た。「無礼なことおつしやいますね。そうゆうあなたは腕に高そうなロレックスはめてらつしやるし見たところスーツも香水も眼鏡もネクタイピンもズバリ舶来でしょ。そつちこそ日本人の伝統なんて微塵もあつせんじやないですか。ファンドシ締めて着物着てゲタ履いてチョンマゲでも結つてるんなら説得力もありますがね」とやりかえすと、中年氏、逆上するかと思いきや、ウホホホ、おつもしろいことゆうなあキミは、もつと聞かせんさい。自分の席から切子のマイグラスを持つてこつちへ移ってくるではないか。なんじやこのオッサンは?!

俺「だいたい伝統とか文化とか、守らにやいけん」と口にした時点で、それだけでその文化はすでに価値も魅力もなくなっているんじゃないんですか。力の無くなった文化は淘汰されて自然に消滅していく運命です。好きなもの、心地よいもの、旨いもの、かっこええもの、時代に必要なものは頼まれなくても、誰に言われなくても継承されますからね。歌舞伎も能も狂言も残つとるけど、あれだつて見たい人があつてやりたい人があつて残つていくんですよ。長い人類の歴史の中で、そりやもう物凄い数の文化や伝統が消え去つたはずですよ。オッサン、なあるほどナ、でそれからどつした?」

俺「映画もそうでしょ、サイレントの弁士からトーキーにとつてかわつたんですよ。その次はモノクロから天然色になつたし、今なんかドルビーでサラウンドです。あなたのゆう文化というのはどこらへんのことかわからんけど、たとえはこの吟醸酒にやパワーがある。だから若いヤツにもわかる。力のある文化とはそうやつて時代を超えて生き長らえていくんじゃないですか。つまりはこれすべて、自然淘汰、滅んでいくのは力の無くなった証拠。いつまでもしがみついてないで、さつさと捨ててしまひよう!」





駅長も駅員も、すべてネコ！というウワサの可部線やすの駅。ギターを持って改札を抜ける
ブラリスト小林を、写真右下のネコ駅長が律儀にお出迎え。気分は銀河鉄道...

オッサムがははははっ、ぐあっぶ(ゲップの音)なかなかゆうのう!! あんた大統領になれやいやその前にウチの会社に入って朝礼で社員どもにその話をしてくれい。仕事せんヤツあ、自然淘汰でどんくろクビにしちやる!!」

とまあ、こんな限りなく不毛なやりとりを1時間ぐらひ続けたるうか、こちらもかなり酔いがまわってきて、それつがレロレロはじめた時、ふいに友人が漏らしたひとことでシラフに戻った。

「小林よ、自然淘汰ってゆうのもわかるけど、そんなに短絡的に割り切っちゃいけないもんもあるんじゃないの?」

「ナヌ、なんのこっちゃ?」

「たとえばインディアンとか、何代も先の子孫のこと考えて環境を守ったりして慎重に行動してきたわけだろ。みんなが振り向きもなくなつたもので、残していく必要があると感じてぎりぎりのところで立ち上がった先人がいたんだよ。人類は自然界のケアテイカーとして重要な使命をしょってるんだ。大切なものなら、たとえ独りになつても、どうせわかつてくれないから黙り込むんじゃなく、前向きにどんどん発言して、人々を刺激していくべきと俺は思うよ。小林はシンガーでもあるけど、おまえは自分の歌をわかつてくれるやつだけ聞いてくれればいっていうスタンスだろ。でもほんとはおまえのこと、ちつともわかつてくれないヤツにこそ歌いかけていかなければ、時代はスバークしないんじゃないのか?」

俺のことをわかつてくれないヤツに向かって歌いかけろだ?.. 思いもよらなかつた。スゴイこと言うじゃないか。おまえこそ大統領ぞ。俺はこれまで魂の冒険者を気取りながら、その実予定調和の中で収まろうとしていたのかもしれない。そうなのだ! なにかを伝えたいのなら、クールを気取っている場合じゃないんだ。思い込みががんにがらめになつて、ちつぽけな世界に閉じこもっていてもダメだ。馴れ合いからは何も生まれてこんのじゃ。よっしゃ、なにかから始めたらいいのかわからんが、とにかくやつたるゼカモンベイビー俺のまつすぐなLOVEを受け止めてくれえええ!!

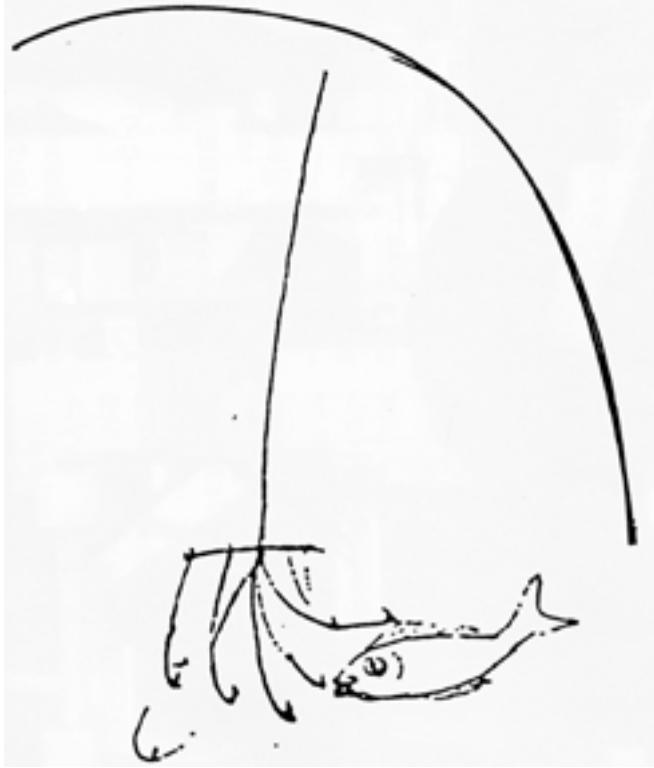
これで俺の単純さが御理解いただけだと思う。それにしても出し抜けに日本の伝統文化がどうのこつのではじまつた意外な成りゆきで出会つた珠玉のメッセージ。わかつてくれないヤツにこそアプローチせよ。以来、これは俺の行動のバックボーンになつている。これこそ見返りを求めない愛のカタチ。前号のコラムを読んでくれた人の中で、環境問題に興味のない、わかつてくれない人にこそ語りかけていかななくては大きなうねりは起こせない! という一文に共感したという方が何人かいらつしやつたので、それに関したエピソードを吐露した次第。

がこのハナシには後日談がある。あとで例の友人に、おまえもたまにやあエエことゆうのう。俺は感動したで」と言つたところ、いやあスマン、俺も酔つて何話したか全然覚えてないんだよ... お互い、大統領は無理のよつた。

川の漁業史

壹巻

元祖友釣りナノダ!



図は加藤寛斎の描いた幕末ころの友釣りの仕掛け。本邦最初の図解説明と言える。

万葉の鮎釣り

アユを対象とした漁業は古くから記録されているが、その漁法が具体的に記されている古代、中世の史料は発見されていない。例えば8世紀後半に編集された万葉集には、九州の松浦川でアユ漁をする女性漁師を詠んだ歌が見える。作者不明だが大伴旅人ではないかと推定されている数首の歌で、前書きがある。要約すれば「松浦川に来てみれば数人の釣りをする娘たちがいる。輝くような花の容姿である。君達どこの人? という名前? と尋ねると、私たちはこの近くの貧しい漁師の娘です。名乗るほどの者ではありませんと答えました。」そこで

松浦河河の瀬光り

あゆ釣ると立たせる妹が

裳の裾ぬれぬ

と詠むのである。

大伴旅人といえば酒好きで、いつも酔っ払っている歌人かと思っていたが、なかなかプレイボーイじゃんとも思えるし、また当時紅いスカートをユニフォームにした若い女性の漁師集団がいたことにも興味をひかれる。

しかし残念なのは、この時旅人が川に入っていった、「ちよつとその系、どんな仕掛けが付いているの? 見せてよ。僕にも釣れるかしら……」

アユという餌では釣れない魚であるだけに、昔の人がどのような方法で獲ったのかは殊更に興味をひくのだが、万葉の漁法はおそらくは素掛け、つまりポツシャンであった可能性が高い、ポツシャンだつてなかなか斬新な方法ではある。

元禄の友釣り

さて、期待の「友釣り」が最初に記録に登場するのは近世になって、1697年(元禄十年)に書かれた人見必大の「本朝食鑑」である。人見という人は実に博識で食べるもの・穀類、野菜、獣魚などあらゆる食材について、種類や作り方、獲り方、料理法などを網羅した百科事典というべき著述を残した。それが「本朝食鑑」でその魚部の中にアユの漁法がいくつか出ている。

「洛の八瀬の里人は長い馬尾におとりの鮎をしつかりと結んでおいて谷水に投げ入れ、岸の草の間に立つて、近づいてきた鮎をひっかけて釣る。妙手なら一日に五、六十匹も獲る。」と書いている。糸に馬の尾毛を用いているわけだが、明らかに友釣りルーツと言えよう。

針は四〜五本

先進的な久慈川

幕末の水戸藩に加藤寛齋という郡奉行の役人がいて、植林や用水の管理をしたり、果樹の育て方を指導したりしていた。その寛齋が晩年書いた随筆の中に久慈川（今の茨城県）における鮎の「おとり釣り」が挿絵付きで出ている。

「川々にて鮎を釣るに、をとり釣りと言う事を工夫して、生きたる鮎を一つ鼻に釣り針をさして針の側に泳がせ、針は四つ五つをたれて水中に投げ入れて、棹を持って魚の掛かるを待ち、魚友を慕い群れ来たりて針に擦りて遊ぶ時、針掛かる也。」

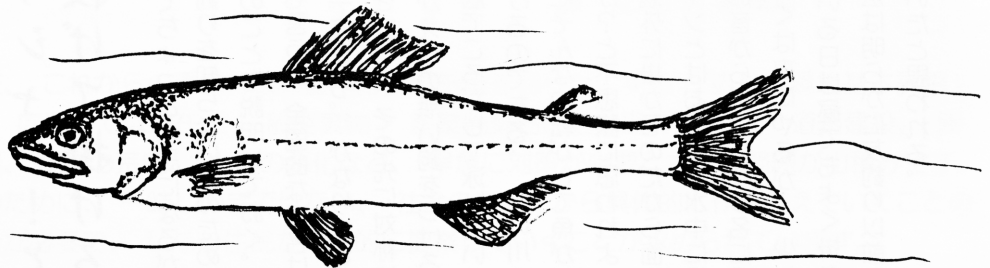
これは確かに友釣りであるが、図

を見ると現代の仕掛けとは大変に違いがある。こんなんで掛かるかと言う人がいるかも知れない。しかし、魚の習性は長い年月や環境で変わることもあることから、これで結構釣れたかも知れない。それよりも気になるのは、

「……魚、友を慕い群れ来たりて針に擦りて遊ぶ……」

という部分である。昔も今もそういう観察をしている人がいたから「友釣り」の名で呼ばれているのである。アユの立場になれば友を慕って来て遊ぶのではなく縄張りに入らするオトリを攻撃してぶつかって来るのだから、本当は「友釣り」という表現では適当でない。「仇釣り」とでも言うべきかも知れない。

それはともかく、太田川においてはいつから「友釣り」が始まったのか……それを物語る史料は発見できない。公文書によれば、少なくとも昭和初年までは友釣りは存在しない。



広島県条例に

見る川漁法

例えば、明治39年には、

「鮎掛釣・年額90銭」

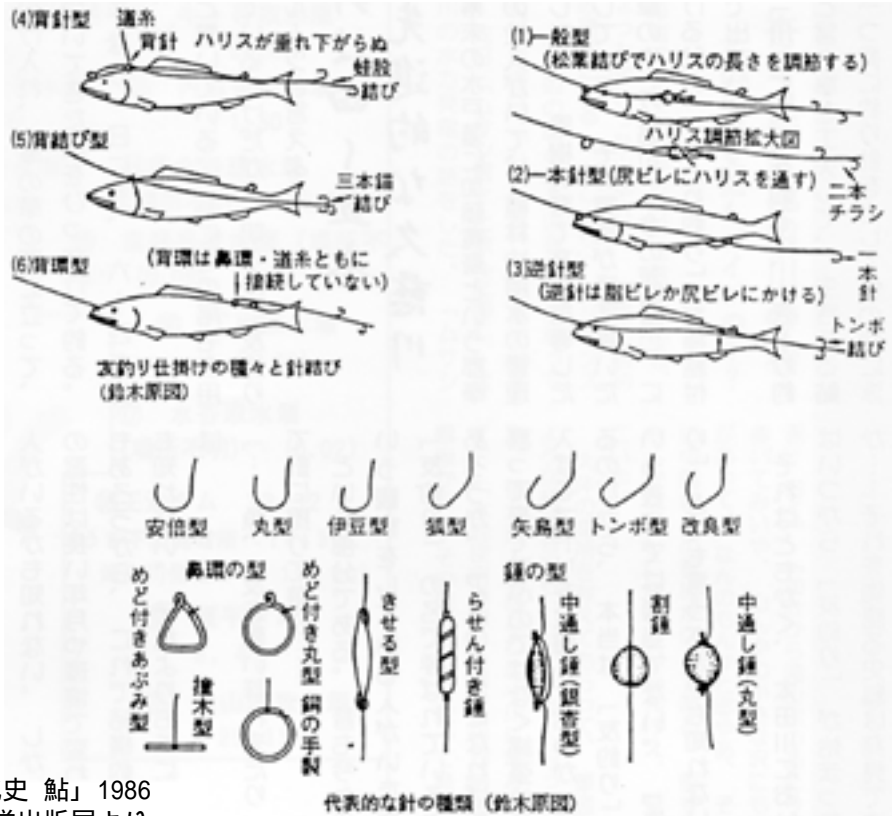
の課税額が示されているが、これはボツシヤンのことである。翌40年に「釣漁・六十銭」と課税されている。この「釣漁」はボツシヤンと友釣りがいっしょにされているのかどうか、判断しようがない。よつするに「友釣り」という言葉が出てこないのである。

昭和12年における川漁に対する課税項目をあげれば、

- 1、築
- 2、鮎瀬張網（切川を含む）
- 3、漁堰
- 4、堰釜
- 5、鮎建網
- 6、鵜縄使用投網
- 7、鮎釣

の7項目に分類されている、7は竿釣りということ、ボツシヤンと友釣りを含むことなのである。とにかく、公文書としては鮎釣り（竿釣

現在の友釣りの仕掛け各種
一般にはハナカンを付け、逆針を尻ビレ
に付けるのが普通のようなが、他もある



友釣り仕掛けの種々と針結び (鈴木原図)

代表的な針の種類 (鈴木原図)

「ものとの文化史 鮎」1986
法政大学出版局より

リ)はボツシヤン、その他。という見
方がされていて友釣りはほとんど問
題にされていなかったことになる。

ボツシヤン!と 投げて掛ける

「ここでちょっと余談になるが、あま
り川釣りを知らない人のためにボツ
シヤンのことも説明しておく。コロガ
シとも言う。全国的な通名は「素掛け」
であろう。かなり大きな鉛のおもりを
つけ、その先に対称に14〜15組のかえ
しの無い鉤をつける。これを川底でこ
ろがして泳いでいる鮎を引っかけるの
である。広い川の中をむやみにそんな
の転がして魚が引っかかるのか?と不
思議に思われようが、それが意外に掛
かるのだから面白い。ボツシヤンとは
おもりを水中に投げ入れた時の音から
付けた呼び名に違いない。多くは夜に
やるが、少し水が濁っている日は昼で
もよく掛かる。この漁法は明らかに友
釣り以前から行われていたと思われ
る。

徒弟制度の漁師

中木さんの談話から

さてそこで「友釣り」だが、太田川
にいつ頃に、どこから入って来たの
かは全く不明だが、明治中期にはほ
ぼ定着していて、仕掛けは少し現在
と差はあるが、細かい技術は現在よ
りも高かったようである。筆者は二
十五年前に柳瀬の専業漁師に会って
聞き取りしたことがあるので、その
時のメモを略記しておく。

中木友一さんは明治24年生まれ、
家は農業だったが、十二歳下河戸の
専業漁師の所に弟子入りした。十二
歳の少年が自分で漁師になることを
決意して厳しい内弟子修業の道に
入ったというのだが、その動機はこ
うである。

「わしが十二の年に(明治35年)そ
の頃大工なんかの日当が30銭くらい
でしたかの。河戸の浜での、アユを
獲った漁師が仲買に売って、1円20
銭もらうのを見たんです……」
その情景が中木少年に漁師で立つこ

太田川の専門漁師 中木友一さん

明治24年(1891)柳瀬に生まれ
85歳で引退するまで漁をした



と決心させたのだという。

弟子入りしたといっても始めの半年くらいは師匠の家の家事手伝ばかり。やっと漁に連れて行ってももうようになっても、教えてくれることはない。見て習えということだと解った。

「先生も教えてくりやあしませんけえ。人それぞれの秘密があるんじやけえ。自分で経験せにやあ分からんいう事よの……」

中木少年は利発だった。水眼で魚

の動きを徹底的に観察して、独立後となく仲買人たちに注自される漁師になっていった。

オトリのアユをつなぐのに今は金属環のハナカンを使うが、糸をオトリの鼻に通して撚り、ミチ糸に付ける。オトリを自然に泳がせるのは糸がよい。まづ川を見る。どこにどれくらいの大さの野アユがいるか、その大きさを読んでサキ糸の長さを決定する。いよいよオトリを入れて竿を動かす場合基本的に三通りの方法がある。「オツカケ」「チドリ」「ナガシ」の三通りで、川の様子を見て選択するのである。

結局は「友釣り」という漁法は魚と人間のかけひきとして他のどの漁法よりも釣り手の技術を発揮して魚に對抗できる、ということか今日、多くの釣り人の興味をひいているのであろう。

今時の鮎は・

しかし残念なことは、天然遡上の鮎がいなくなったこと。水流の勢いなくなると、餌の水苔が変質したところなどで鮎の生態が変わってしまった。名人の技術も通用しにくい時代

となってきた。

「昔は水が多かったですけえ今の十倍も二十倍も。今はとろっとして、かめの中の水のように腐っとるけえ、苔がやっぱり腐っとる。それを食べるとるけえ……」
その結果は鮎は

- 1、栄養不足で成長しない。
- 2、食べて不味(香りががない)
- 3、縄張りに強く執着しない

この中で3、は漁師にとつて最も困ったことと言える。本来、鮎の素晴らしさは何と言つてもその俊敏さであり、闘争心である。ただ量を沢山獲るのが目的だったなら、中木さんの時代には「切り川」といった漁法があり「一日に今度は二万尾獲るで、言うてるんじやが、どうしても毎回二三百きれました」というほどの莫大な漁獲量があった。それでもやはり儲けを度外視してでも「友釣り」にひかれるものがあるのは、鮎との知的な勝負に魅力を感じたからであらう。

今時の鮎……俊敏さをなくしてややジベタリアンのな風潮さえ見えてきた、とまで憂れうる人もあるようだ。

インタビュー
シリーズ

100%クリーン

こちら夢中力発電所！！

水と緑を育む会

青野 健二さん

「消費者」の立場から何ができるだろうか…



瀬戸田町のミカン園で
農業ボランティア

このコーナーでは、「こんなふうに変わっていかんかの？」、「どうしたらええの？」と色々なことに取り組みられているグループや個人の方にインタビューします。今回は「環境・健康いい品いい店応援隊」(廿日市版 スーパーの買物ガイド)を作成された「水と緑を育む会」の青野健二さんに聞きました。

私たちの消費行動が社会を変える

「水と緑を育む会」でこの本を作ろうと考えられるようになったのはなぜですか？

「私たちは1990年に廿日市市が実施した松枯れ農薬空中散布の問題をきつ

かけに活動を始めました。その後松枯れと大気汚染、酸性雨や山、水の問題、食と農の問題、そしてダイオキシン汚染の問題と身近な環境問題に取り組んできたのですが、活動を通して、私たちの生活のあり方、あるいは社会の仕組みそのものが変わっていない限り、環境問題を解決していく糸口は見出せないのではないかと感じるようになりました。

そのために、私たちに何ができるのか。現在の大量生産・消費・廃棄社会の中では、私たちは商品を買って使って捨てる『消費者』という立場にいます。『消費者』という立場からどんな働きかけができるのか。

近年『グリーンコンシューマー』という考え方が各地で定着し始めています。『グリーンコンシューマー』とは、環境対策に積極的な店で環境に配慮した商品を買うよう心がける消費者のことを言います。

私たち消費者が環境問題を広く深く学んで、商品や店舗の選択の際、『環境』というキーワードを持つようにする。私たちの選択が店や商品を製造する企業を成り立たせているわけですから、『環境問題への配慮』を基準に選択の仕方を変えれば、店も生き残るために販売する商品や店舗の設備をより環境に配慮した形に変えざるを得ない。さらにそれが商品を生産する企業を変え、行政も変えていく。

グリーンコンシューマーとして生活することで、私たちが社会に対して影響力を發揮できるのではないかと考えたのが、私たちが自身の消費のあり方を考え、店にとても環境に配慮した店づくりに役立つようなガイドを作ろう、そう思うようになった。

なったんです。」



環境・健康 いい品いい店応援隊

お互いが環境に対する視点を養えるように
この本の特徴や、編集される際に工夫されたことを教えてください。

「調査は、普段の生活エリア(廿日市市とその周辺)にあるスーパーを中心に実施しました。環境に対する多角的な視点を養えるよう、商品や店の取り組み方が直接・間接に影響する環境問題を整理しながら調査項目を決定しました。

店にはあらゆる環境問題に通じる学習の場でもあるんです。たとえば買物袋や商品を包む容器の問題は、『ゴミの問題に直結しています。食品への添加物や農薬・化学肥料は、自身の健康だけでなく、周囲の環境まで汚染してしまいます。野菜をハウス栽培することには、エネルギーを大量に消費することになりますし、地域で育てられた作物を買うことがエネルギー消費や大気汚染を防ぎ、地域の農業を守ることに繋がります。化学物質の多用は健康に悪いだけでなく、川や海まで汚してしまいます。塩ビのラップなどはダイオキ

連載

太田川水系の生き物たち

孵化まで六ヶ月もかかる変わり者

サンショウウオと聞いて、多くの人はオオサンショウウオのことを思い浮かべるでしょう。しかし、ここで紹介するハコネサンショウウオは全長13〜18cmで、小型サンショウウオと呼ばれるグループに属します。その小型サンショウウオは全国で15種類が知られていますが、ハコネサンショウウオはその中でも最も分布域が広く、本州・四国に棲息しています。ハコネサンショウウオのハコネは箱根山（神奈川県）から最初に発見されたことに由来しますが、広島県では備北地方や芸北地方の山地渓流（標高約900m以上）に棲息しており、本種が冷水域に適応したサンショウウオであることを示してい



ハコネサンショウウオの成体
（戸内町にて1995.4.29撮影）
卵中は卵のう（1996.6.12撮影）

ます。特に太田川の源流域である西中国山地は本州におけるハコネサンショウウオの西限にあたり、「広島県の絶滅のおそれのある野生生物」では希少種に選定されています。

カエル（両生類）がオタマジャクシ（幼生）を経て親になるように、サンショウウオも幼生を経て親になります。ハコネサンショウウオの幼生は約2年半

ほどかかって親になるため、私たちがよく見かけるサイズはその成長期間に比べて4〜12cmと幅があります。方言では「かく、かくうお」と呼ばれていますが、これは幼生の頭部が角張っていることに起因するものと思われます。オオサンショウウオの「はんざき、はんざき」とは区別されています。両生類の幼生は鰓呼吸をし、変態後は肺呼吸に変わります。しかし、ハコネサンショウウオは変態後も肺は分化せず、多くを皮膚呼吸に依存しているため、親になっても水際から離れることはできません。

太田川の源流域では、繁殖期は6月上旬です。「太田川流域」と限定したのは、本州の他地域では繁殖期が異なるからです。おそらく水温の上昇と関係があるものと推測されますが、繁殖が確認された

のは全国で4例しかなく、西中国山地（吉和冠山1339m）で確認できたのは幸運としかいいようがありません。卵のうは岩盤（安山岩）の節理面に産み付けられておりました。6月なのに伏流水は6、調査を続けていると指ががじかんでしまいます。産卵場所には十数個の卵のうが産み付けられており、また、周りの節理には成熟雄が待機していたことから、ハコネサンショウウオは繁殖場所に成熟雌がやってきて、それと数個体の雄とがつがい、産卵後に雌は山へ帰っていくことが繰り返されると考えられます。わずか2cmという隙間で行われる繁殖行動を観察するのは不可能なことなのです。

7月、8月...と観察を続けましたが卵は孵化しませんでした。「未受精卵だったのか？」と思っていたら、11月下旬にやっと孵化しました。他の小型サンショウウオが約1カ月に孵化するのに対して、ハコネサンショウウオは6ヶ月もかかるのです。その結果、多くの水生動物が冬眠に入ったあとで孵化することになります。これは孵化幼生が捕食されないためなのでしょう。こうした生活戦略を獲得したからこそ、西限の厳しい環境で生き続けることができたと思われま

す。近年、中国山地では千メートルを超え、山塊が皆伐され、スキー場へ変貌する事例をよく見かけます。表土が流れ、山が乾燥するとハコネサンショウウオには棲みにくい環境になっているはず

連載

写真・絵画で蘇る太田川

その2

鵜飼い（松落葉集）より



「松落葉集」は山県郡加計の隅屋、十五代目の主人八右衛門が編集した詩画集である。隅屋はこの地方の鉄山主で大坂との取り引きがあつたので、原稿は大坂に送って版刻させていたが、その最中に八右衛門が亡くなり、その後十六代目が跡を継いで発刊した。明和五年（1772）のことである。

この内容は画家に太田川上流の五十三ヶ所の景勝を描かせ、それぞれの風景を詠んだ詩を配している。詩は漢詩、和歌、狂歌、発句等いろいろで、その作者は山県郡内にとまらず郡外にも及び、層も武士、僧侶、地主、一般人と様々である。知名の文人ではない、画家も絵を見てわかるように全く無名の画家である。ただ風流を好んで集まる人たちが18世紀のこの時代に、この地方にいて、この作品集が残されたことは注目に値すると言えよう。

五十三ヶ所と言った。殆どは山の名、滝の名、村の名などが特定されているのだが、一部に「筏流し」とか、「鵜飼」のように状況が題名となっているものがある。この絵では相堅、亮香という雅号の二人の和歌、

明ぬるかうぶねにともす
篝火のかげしらみ行く
夏の夜の雲

くらし夜をまちえでいづる
鵜飼船せせのしるべや
かがりなるらん

と鵜飼いの様子が歌われている両方とも船上での鵜遣いである。ところが絵の方は、（小さくてわかりにくいのだが）船はなくて川の中で鵜を遣う徒手遣いである。これはおそらく、画家は鵜飼いを描くよう頼まれて、見たのが徒手遣いであり、歌人は船遣いを見て詠んだのであって、当時両方があったことを意味していると思われる。全国的に鵜遣い漁の歴史は古く万葉集などにも登場するが、多くは徒手であった。

太田川の鵜遣い漁がなくなったのは明治3年、県令第五十三号（鵜漁等取締規則の改正（第十五条鵜使漁ノ禁止））によってで、以後県内では一部特定の川の特定の範囲を除いて禁止された。それまでの太田川では上流の戸河内から下流の河戸まで鵜を飼っていた人達がいたのである。

（幸田）

太田川の河畔から



笛吹き童女

我が家から5分ぐらい歩くと、出会うと、鳥の習性と団体行動を見
 祇園水門と大芝水門の見える太田 て感心していたのであった。こうし
 川右岸の土手に出る。目の前には た風景も今では見られなくなった。

太田川から分水された水が、祇園 とんびの集団の眠り木は無惨に市
 水門のゲートをくぐり放水路に流 の河川管理の手で伐られて、とんび
 れ込み、車の通りの激しい54号 が戸惑いながら四散してしまったり
 線に架かる祇園大橋をくぐり、3 と、都市化型へと川岸が変化して来
 0米の川巾の流れは南西の商工セ ている。特にこの2・3年の太田川の
 ンターに向う。本流の太田川は大 異変は、水量が極めて少なくなった
 芝水門と水門に沿うように架かる せいだろうか、渇水期でもないのに
 大芝橋をくぐり、相生橋で元安川 大芝水門一帯が両岸に至るまで干上
 と本川に分流し、平和公園を囲む がって、川床の赤土と小石でグラン
 ように流れ南の河口に向う。 ドのようになり、草までがところど

私は太田川河畔の長束に住むよ ころ生え出している。祇園水門に近
 うになって20年以上になるが、 い川巾の真中に、ほんとに小さな州
 季節によって変る川の表情や、鳥 が20年前に出来ていたのが、今で
 たちの変化を見詰めて来た。例を はくじら(?)のように土砂の流れで
 挙げると、ゆりかもめの集団が上 生長して、樹木や雑草が覆っている

手の新祇園大橋の橋梁の 岸から州へ渡れそうに見える。

下から川巾一杯にV字形 太田川の上流山間地に、最近出来
 に隊列を作り、下流へ た温井ダムをあわせ四つのダムがあ
 向って水面を見事に滑走 り、15ヶ所の水力発電所は多量の
 し、祇園大橋が近くなる 水を使用し、中国地方の電源地帯と
 と滑空へ入り橋を越えて なっている。さらに75年に佐東町
 飛び去る。こんな場面に

投 稿

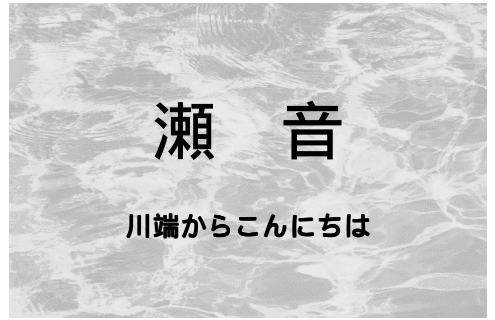
に高瀬堰が建設されたが、この工
 事に加え可愛川土師ダムから水を
 ひくようになり、太田川は従来の
 呉地区の給水のほか瀬戸内の島々
 に、さらに内陸の東広島にも上水
 を供給している。

水の利用の増加がますます下流
 への水量を減じてくるので、川底
 の土砂を水量の力で流すことがで
 きなくなり、堆積した土砂の川底
 が表われてくるのではないかと、
 豊かな太田川の流れを見続けてい
 ただけに不安な気がするこの頃で
 ある。

このコーナーでは、読者のみ
 なさまの投稿をお待ちしていま
 す。B5一枚以内の分量で、紙面
 に表現できる形(文章、詩、短歌
 俳句、写真、絵など)ならなんでもOK(〒733 0852 広
 島市西区鈴が峰町40 8 20
 2原哲之方「環・太田川」編集部
 へ)。採否については当方に一任
 ください。投稿してくださいの方
 の了解を得た上で、内容が変わら
 ない程度に表現を変えさせて頂く
 場合があります。なお、二重投稿
 はご遠慮ください。

1999.6.29(雨) 洪水警報、夕方ちょっと止む。太田川はごうごうとゴミを運び波をた
 て流れている。濁流となって、あの清い川などどこへ...奥山を削っているからだがすごい。夫と昼過
 ぎに見に行き夕方私一人で行く。なんだかこわくなってリュックに一応必要なものを入れてみる。





瀬音

川端からこんにちは

川に来るのが 私たちの日課です

私はこの近所におるんですが、こつやつて天気のエエ日の夕方は必ず散歩にきます。潮がひいとるときに貝掘りをすることもあります。川が汚れとるけえやめえ言う人もおつてですが、おもしろいですけえやめられませぬ。

このコーナーでは、川を背景にみなさんにお聞きします。神出鬼没にあらわれますので、よろしく。お電話でお話くださつてもいいです。広島市の太田川放水路の河川敷では、昼下がりに近くに住む方々が思い思いのんびりとひと時を過ごされます。今回はちょっとお邪魔して、お話をうかがいました。

れて、おおきゅうひいたりあんまりひかかんかったり、不思議よねえ。こればかりは人間にはどうにもならんけえね。

いま水上バスの話が出るけど、それで

私たちの生活を天気の変化に合わせたり、潮の満ち干きにあわせたりするようになるんじゃつたらええじゃろつね。嵐の日は出勤せんとか、勤務時間を汐の満ち干きにあわせるとか。のんびりするじゃろつねえ。

(散歩に来られていた中年の女性)

僕

は放水路沿いにあるマンションに住んでます。それまでは市内のど真ん中におつたんですが、川沿いに住んで、川いっつのはありがたいのー、思います。何があるたい言つて、夏が涼しいんですよ。前の家じゃあ一日中クーラーをかけたばなしにしようとしたのが、気持ちのええ風が吹いてくるんで、いらんのです。

それに不思議なことに、川筋を通つとる風は、排気ガス臭くないんですよ。2号線のバイパスなんか最悪じゃけえね。広島市内の交通事情も悪い

し、これからいろいろ道ができてもっと車が増えたらやれんけど、今まだなんとなつとるのは川のおかげじゃね。

デルタの内側に車が入らんようにして

て、そのかわり水路を張り巡らしてベニスみたいにしたらどうスかね。その代わり水をきれいにせにゃあいけんじゃろつね。

(犬を散歩させていた若者)

わ

しは己斐の本町にあります。己斐におつてびつくりしたのは、昔は山じゃつた上の方にどどん団地ができたんですが、それから己斐に八幡川(はちまんがわ)いうのがあるんですが、あれがちょっと雨が降つただけで洪水のように溢れるようになったんですよ。それで今は少し上がった上町のほうに貯水池があつて、雨で水が多いうなつたときは、そこからトンネルを通して別のところに放水するようになったりしますが、柵とコンクリートで固めてあつて、ゴミがたまつて、あんまり気持ちのええもんじゃないうですよ。

それはそれとして、普段はこつやつて毎日川へ遊びに来るんですが、どついつわけかここで人に会つと話も弾んでええんですよ。(ジヨギングしておられた中年の男性)



お話ありがとつございました。河川敷に立つてみると、街の喧騒から一歩離れた気分が、久しぶりにゆつくりと日が落ちていくひとときをじっくり味わうことができました。たくさんの方が毎日河川敷に来られる訳がすこし分かつたような気がしました。

「環・太田川」では、読者の皆さまの活動・取り組みを応援します。
イベントや活動への参加を呼びかけてください。情報をお待ちしています。
お気軽にお寄せくださいね。

燃やせないゴミの現状と問題点(埋め立てゴミを考える)について勉強会を開催します

広島ゴミ0(ゼロ)研究会

現在、玖谷の埋立地には毎日、350tの不燃ゴミが持ち込まれており、残存対応年数は数年だそうです。

白木の埋め立て候補地の調査は無期延期になり、事実上、断念された状態にあります。

一方で、各自治体は埋め立て処分地の問題に悩み、ゴミ(資源物)のRDF(ゴミ固形化燃料)ガス化溶融炉の開発へ進もうとしています。

その問題点と、これからのゴミ処理のあり方がどのようにあるべきかごいっしょに考えていきたいと思えます。

日時 2001年6月30日(土)14時~16時頃

場所 広島市ボランティア総合支援センター(20名程度しか入れません)

参加費 資料代(100円位)

お問い合わせ 西塔 文子 082-888-4541

山下 きよし 082-503-3403(会社)

082-220-0745(夜間)

みずべのサロンにご参加ください

太田川みずべのサロン実行委員会事務局

「太田川みずべのサロン」は、太田川に関わりをもったり、関心を寄せている団体や個人が寄り合い、共同の学習を行ったり、相互の交流を深めていこうという集いです。これまで、県内外から講師を招き、多自然型の川づくり、民間団体の流域連携、環境教育などをテーマとした学習会、川船を復活させた加計町鮎ヶ平地区での試乗会など、6回の集いを開いてきました。

このサロンは、太田川の上中下流域で様々な活動を行っている民間グループ有志による実行委員会(現在30人)が、企画や運営にあたっています。次回「みずべのサロン」の集いの案内をご希望の方、これまでのサロンの活動を知りたい方など、サロンにご関心をお持ちの方は下記へご連絡ください。

太田川みずべのサロン実行委員会

事務局 中国・地域づくり交流会内

〒730-0015 広島市中区橋本町7-14 C-haus

TEL.082-221-8505 / FAX.082-221-6009

メール:ccc@c-haus.or.jp

いっしょにやります専科?

「ありがとう可部線」 黄色い羽根運動にご協力ください

「ありがとう可部線」実行委員会

可部線可部～三段峡間の存廃問題について、1年間の試験増便期間が与えられました。私たちは、鉄道を考え、川を考え、自然を考え、生活を考え、村を考え、地域を考え、社会を考え、ひいては日本について考える時間があたえられたとは思いませんか。

「ありがとう可部線」実行委員会は、可部線存続へ願いを込めて、「黄色い羽根運動」を始めました。可部線のディーゼル車にちなんだ黄色と黒色の小さな羽根を胸に付けて下さい。一枚百円で、収益金は利用促進運動に活用させていただきます。

可部線をのこし、ごいっしょに可部線が本当に活かされる地域の未来を考えませんか。私たちの思いにご賛同いただき黄色い羽根をご希望の方、「ありがとう可部線」運動にご関心のある方は、

TEL 082-814-4750

ありがとう可部線実行委員会 事務局へ

広島市の環境基本計画に意見を寄せよう

「環・太田川」事務局

広島市は現在、これからの環境行政の基本方針や施策を明らかにする「広島市環境基本計画」を策定中です。広島市では現在、一般廃棄物・産業廃棄物の処分場の問題や、道路建設、無秩序な宅地開発、森林の荒廃、水質の悪化など、早急に対策が必要とされる問題が山積みです。

問題の解決のために、一時しのぎではない、社会のあり方から具体的に作り変えていくことのできる基本方針が必要で、私たち住民が積極的に提案していくことが求められています。

中国地方最大の都市広島市の姿勢が、太田川水圏の未来に大きな影響を与えます。私たちもしっかり考えて声を出していきませんか。

6月29日（金）までに、郵便、ファクス、電子メールで、お住まいの区名（市外の方は市町村名）、年齢、性別を記入し、

〒730-8586 広島市中区国泰寺町一丁目6-34

FAX 082-504-2229、電子メール kankyou@city.hiroshima.jp

広島市環境企画課へ

（広島市環境局のホームページ <http://www.city.hiroshima.jp/kankyou/hp/>）

なお、事務局に「広島市環境基本計画 中間取りまとめ」がございますので、ご希望の方にはコピーを差し上げます。

ご連絡は、「環・太田川」編集会議宛（本誌最終頁）へお願い致します。

環KAN学GAKU

エネルギー その二

奇々怪々滝山川の巻

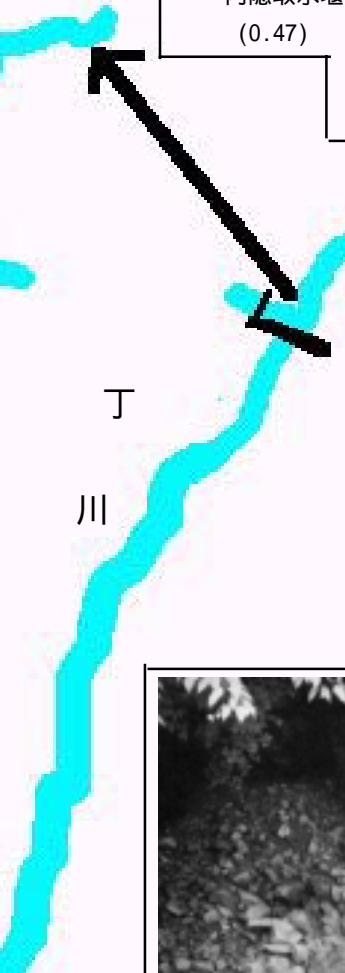
太田川は支流もパイプの中？

筆者のツレに山歩きの好きな男がいる。ちよっと変わった山歩きで、剣豪小説の読み過ぎによる「山こもり」的なセンスで、この辺の山という山を這いまわっている。筆者は「ムサシ君」と呼んでいるが、先日「ムサシ君」と飲んだ際に、太田川の水力発電の話をした。「ムサシ君」曰く、

「加計から滝山川のあたりを歩いてみいや、山の中の小さな沢にも堰があって、なんのもんかと思やあ、そこに中国電力の看板がはってある。何するもんかはわしにはよう分らんけえ、見てこいや。」

大体の場所を教えてもらって、筆者のような軟弱者でもいけるところへ行ってみた。確かに人里はなれた小川に堰があって、「水利使用標識」なる看板がある。看板から、その堰から水を取って発電に使っているように思われるが、どうい

丁川分水取水堰 1.80	牛ヶ谷取水堰 0.20
桧谷川取水堰 0.20	内隠谷取水堰 1.30
内隠取水堰 (0.47)	落合谷取水堰 (場所不明) (0.06)
	鬼後谷取水堰(場所不明) (0.09)
	丁川取水堰 (5.00)
	水谷取水堰 (場所不明) (0.02)
	王泊ダム 33.32 (うち下山発電所へ 14.32、 滝山川発電所へ 19.00)
	榎平ダム 8.43
	滝山川取水堰 25.15



牛ヶ谷取水堰の直下
幅2～3メートルの小さな沢で、
撮影時堰の下には全く水がなかった



内隠取水堰
国道186号線の滝見橋からよく見える

水利使用標識	
河川名	一級河川太田川水系内隠谷
許可年月日、許可番号	平成10年7月7日 第7号
許可期限	平成27年3月31日
許可権者名	国土交通大臣
水利使用者名	中国電力株式会社
水利使用の目的	発電
取水量	1.30 m ³ /s
取水施設管理者名	中国電力(株) 加計電力センター所長
所轄事務所名	中国電力管轄本部 江東事務所 電話 092-921-2406

ふうに使っているのかよく分らない。近くにお住まいのお年寄りに聞いてみたら、「ありやああそこで水を取ってですよ、」

地下を走っとるトンネルの中に水を落とすんですよ。「そのトンネルはどこから来とるんですか。」この辺じゃたら王泊のダムからじゃね。王泊から加計の滝山川発電所へ向けて水を送っとるんよ。ダムの真下で発電するより、その方が落差をつけれるけえ、ようけ電気が作れる。ついでにその途中にある小さい川からも水を取ってできるだけようけの水を送っとるんです。」

お話をもとい歩いてみると、堰がいたるところにあってトンネルが縦横に走り、水を出るだけたくさん発電所に送れるよう、水も漏らさぬ「仕掛けを造っている様子が見えてきた(毎秒数リットルという、小さなポリタンクに入るほどの水を取っているところもあるらしい)。

そこまでやるか?! 滝山川発電「迷」路マップ

- 後谷取水堰 (0.55)
- 松原川取水堰 1.88
- 大佐川調整池取水堰
- 大佐川取水堰 5.00
- 若杉谷右取水堰 (0.007)
- 若杉谷取水堰 (0.017)
- 若杉谷左取水堰 (0.004)
- 大佐川分水取水堰 3.00

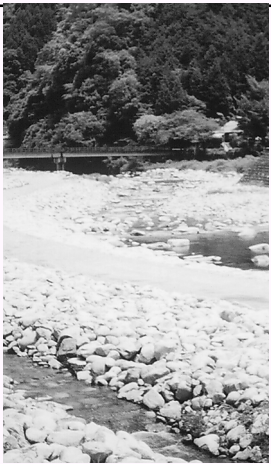
数字は「水利使用標識」の許可取水量(トン/秒) ()は聞き取りによる

芸北町



戸河内町

三段峡



滝山川取水堰の下流 かつてはどんな流れだったのか

加計町

安野発電所へ (約8キロ下流)

(「中国地方電気事業史」, 現地調査、聞き取りをもとに作成)

それに、つい先日温井ダムが運用開始したおかげで、王泊ダムから滝山川の一番下流の取水堰までおよそ14キロの間に五つもダムがある。いい悪いはともかく、「ここまでやるか?」とはこのことだろう。滝山川は太田川水系の中でも特に急流で、その昔川を上る鮎はよそのものとは体型が違って、特に高値で取引きされたというが…。今は急流が遭した巨岩の下を、ちよろちよろ水が流れるだけだ。

そのあといろいろ歩いてみて、滝山川周辺に限らず、太田川では発電用の水路の上を通るほとんどの支流には堰が設けられていて、水路に水を落としていることが分かった。太田川は本流だけでなく支流もパイの中だったのである。それにしても、こゝまでして私たちが使いたい「電気」っていったいなんなのだろう。ちなみに「水利科学」という雑誌によれば、昭和61年当時に太田川の包蔵水力に対する開発率は89パーセントで、全国平均の62パーセントに比べて突出して高いという。どうやら太田川の水力発電は全国でも稀な徹底ぶりらしい。

温井ダム???

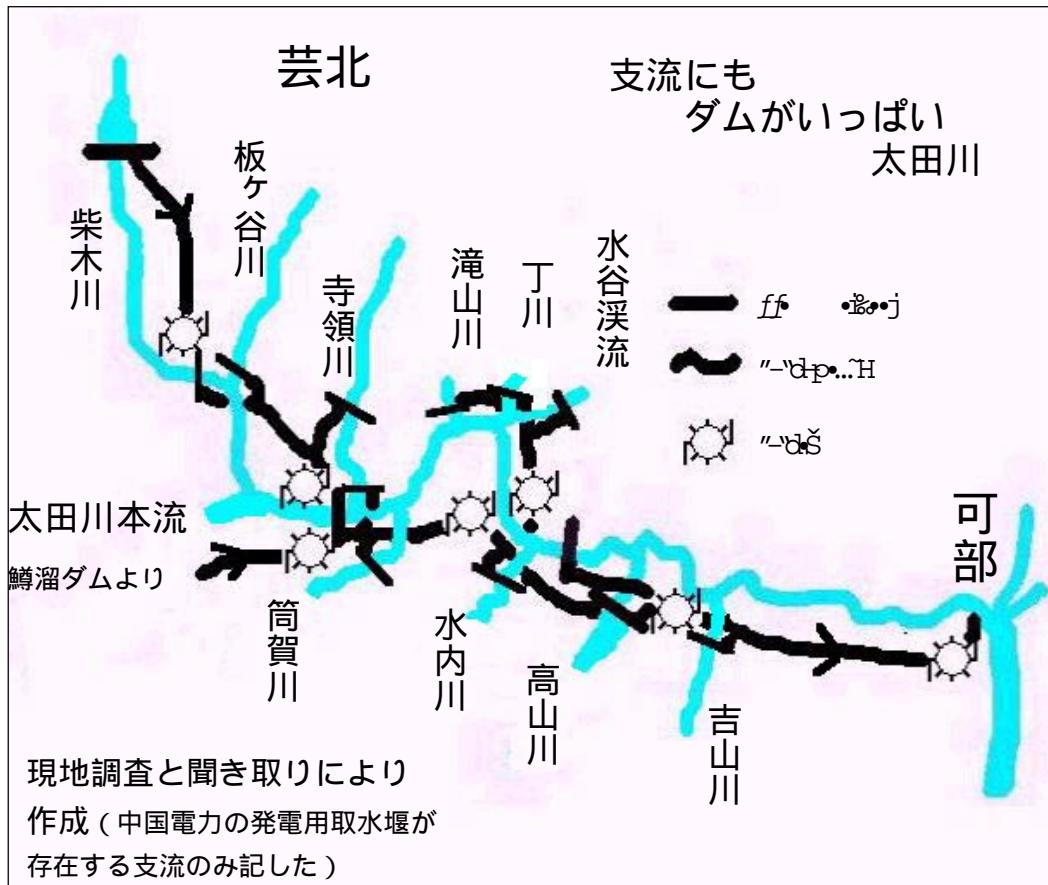
ところで、今年から運用を開始した温井ダムは、堰堤の高さがあの北アルプスにある黒四ダムに次ぐ、日本で一番目に「高いアーチ式の大ダム」だ。しかし、温井ダムを迂回して二本の発電用送水管が走っている。堰平ダムより下流には小さな沢しかないし、その沢にも取水堰が作ってあるところがあるので、温井ダムにはそんなに水が流れこ

めない。温井ダムは多目的ダムというやつで、「太田川史」という本によれば、二百年に一度の洪水や、今まで経験したこともない大洪水に備えるためのものだという。洪水のことはちよつと分らないが、洪水の時たたださえ水が減るのに、上流のほとんどの水が温井ダムを迂回して流れていて、水がたまるのだろうか? それともそのときはトンネルを通して発電せず、川へ放水してダムに水を蓄えるのだろうか。そんなことができるのなら、お天気が続けば早めに節水・節電を呼びかけて、王泊・樽床・立岩の三つの発電ダムからの放水をできるだけ絞ればいいことではないだろうか。

それから、温井ダムは、特にアユ釣りのシーズンに、発電用に水を取られて水量が少ない川に水を戻す「流水の正常な機能の維持」という役目があるらしいが、温井ダムのすぐ下流には滝山川取水堰があって、そこからまた大量の水がトンネルに流れ込んでいる。川に水を戻したければその取水量を減らせばいいことであって、それで減る発電量など微々たるもののような気がするのだが…。「太田川史」によれば加計の太田川本流の平水流量(注)は4.13トン/秒で、滝山川取水堰の許可取水量は25.15トン/秒、約六倍である。

三十年もの時間を費やし、集落や名勝滝山峡を水底に沈め、森をなぎ倒してまでして温井ダムを造る必要があったのかどうか、何が私たちにこゝまでさせているのか、なんとも釈然としない気分である。

もっとも筆者のような理(利?)に疎い人間には想像もつかない深遠な理論があるのかも知れないが…。(続く) 水本 清隆



参考文献:「太田川史」建設省(国土交通省)太田川工事事務所編 平成五年「水利科学」第30巻3号 15~39ページ 水利科学研究所 昭和61年 中国地方電気事業史 昭和4年 中国電力

(注) 平水流量 一年を通じて185日はこれを下回らない流量のことで、見方をかえれば180日(うるう年は181日)はこの流量未満になる。

オヤ？？？ニラニ

上関原発計画を国の

電源開発基本計画へ組み入れ



電源開発分科会（経済産業相の諮問機関）は五月十六日、中国電力の上関原発建設計画の事業着手を了承した。今回は、この問題について、「猿猴川のカップ」（ペンネーム）さんよりお便りが寄せられたので、ご紹介します。読者の皆さまのご意見をお待ちしています。

だれのための電気？

のも多いし、人口も少しずつ減ってきて来んじゃないですか。

なんのための原発？

ぼくはテレビで上関の問題が出ると、胸が締め付けられます。原発ができたその電気は僕らが使うことになるんですよ。多分計画書にも、「電力の需要の増大に因應するため」とか書かれるんでしょうけど、この辺で一番電力を使うというたら広島近辺です。だから言ってしまうには、僕らのせいで、上関の人々が賛成・反対で苦しんだり、大事に守って来ちゃった漁場を奪われることになるんじゃないですか。それに事故が起こったら、もう上関では永久に生きて行けんようになるでしょう。もっともチエルノブイリから考えると、広島でも生きて行けんようになるのは間違いないですが…。

僕らはそうまでしてこれ以上電気が欲しいんですかね。まわりを見てても電気が無くて困ってる人もおらんし、逆にテレビのコマーシャルなんかもっと電気を使いましょ、と言うような気がしません。僕らの年代のやつらは子供がおらん

僕は旅が好きで、十年程前に原発銀座・若狭湾の漁村を歩いたことがあります。そのとき漁師さんらが言いよっちゃったことで、耳につけたりできるか？ 漁で飯を食えんのに何とかしてくるんか？ 別に原発なんかいらんけど、道路は欲しいし生活していかんあかんさかい。」という言葉です。僕は都会育ちじゃけえ返す言葉がなかったんですが、何十年も前から、都市や工場なんかが大きゅうなるために、農村や漁村からいらんなもんを吸収してきたわけですよ。それで過疎になって不便で苦しんどられるところへ、その苦しみを利用するような感じで、交換条件と引き換えにもっと自分らの思うようにしよう、そういうやり方に腹が立ちます。そもそも道路建設や漁業を護っていくことは、原発とは何の関係もないじゃないですか。

山口県知事は条件付きで建設を容認しちゃったですが、僕はあのとときの苦虫を嘔み潰したような表情を見て、「この方は本当は原発なんか欲しくないんだ。」と疑ってます。それでも認めざるを得んのは、今のところ、建設と引き換えに与えられるモノ（過疎地の活性化、地域振興）を乗り越える価値観とか具体的な代案がないことを物語ってるような気がします。いまは物が有り余ってるけえ、公共事業が、それが本当に必要で安全かどうかはおいて、「活性化」とか「地域振興」という名目で進められようですが、結局は、都市とそまわりの一方的な関係がますます進むだけじゃないですかね。

「ヒロシマ」に原発？

それから、世界で最初に「核」を体験した土地に住んどの僕らが原子力で出来た電気を使っとるいうことに、なんか違和感はないですか。難しいことはよう分らんのですが、「軍事利用」とか「平和利用」というのは、どうも言葉の上の区別に過ぎんような、根っこは同じような気がしてならないです。偉そうなことを言うてしましますが、やっぱり「ヒロシマ」から、原発と無縁な社会づくりを具体的に提案していかんやあ

いけんんじゃないでしょうか。それはどういふことが言つと、今の、石油を中心とした「地中に埋まつとる物をたくさん掘り出してお祭り騒ぎを続けよう」というやり方からおさらばすることなんじゃないですか。結局「核」というのは、その考え方の行き着く先だったんだと思います。「猿猴川のカップ」(三十歳 フリーター)



みずべのとしよかん

『太田川史』

建設省現国土交通省
太田川工事事務所編



平成五年発行 二百八十五頁
太田川工事事務所が、太田川直轄改修六十周年、放水路概成二十五周年を記念して発行した。太田川流域の自然・歴史・産業・経済・社会・文化・洪水・治水・利水・環境・今後の河川改修について、「教科書」的にまとめている。事典として使うには便利。ただし、編集者の立場から、明治以降の太田川の開発が自画自賛的に描かれていることに注意。私たちは「近代化」の過程で傷つけられた人々や自然のことを忘れることはできない。

たとえば高瀬堰・温井ダムなどの利水・治水事業の根拠として挙げられている数字について、専門家でない読者が批判的に検討できる材料が与えられていない。読者は数字は立場が「作る」ものだということを意識して、素直に「ななめに」眺めるセンスが求められる。

机上の専門用語より、日常生活の常識・感覚から生まれる簡単な足し算や引き算から分かることの方が、真理に迫っていることもあるのではないだろうか。

「太田川史」は非売品ですが、流城市町村の図書館で閲覧可能です。

「環・太田川」より

INFORMATION

ボランティアスタッフ募集中!!

「ご存知のように、「環・太田川」はスタッフ不足のため、スタートから代表・事務局長兼任の異常事態です。読者の皆さまにご満足いただける紙面にするためにも、スタッフを急募します。「こいつしよに川を歩いて楽しく編集などしませんか。事務作業もお手伝いください。」

イベントや学習会の企画に参加しませんか?

「環・太田川」では、ミニコミ発行だけでなく、川で遊んだり、フィールドワークしたり、未来を考える学習会を開いたり、いろんなことをしたいと考えています。「こんなことももしろいね」とか、「こんなこと学びたい」というアイデアをどしどしお寄せください。

今年度の「環・太田川」題字決まりました。

表紙の素敵な題字は、書家の根本 小夜子さん(雅号 翠水さん)が書いて下さいました。ありがとございました。他にもご意見などいただき、心より感謝致します。

来月号は発送が一週間遅れます。

来る7月7日(土)に「環・太田川」主催の姫野雅義さん講演会を開催いたします。このため、「環・太田川」7月号の発送が15日以降となります。ご了承ください。姫野さん講演会にもぜひご参加ください。

編集後記

可部線の存続以上にひそかに心配していることがある。太田川の伝統の川船。その造船技術者川口悟さんはもう七十歳に近い年令である。後継者はいない。彼が船造りをやめたら、グラスファイバーなど国籍不明の釣り船が入り乱れた太田川は見たくない、と思うからである。(幸田)

進水式が6月17日に決まった。実はカヌーには乗ったことがない。どうなることやらじゃけど、鮎が食えるけえ、見にきんさいや。(哲)

「環・太田川」定期購読会員 になりませんか?

一般定期購読会費は、
年間3,000円です。

月刊誌購読のほかにイベントや学習会の参加が無料になる賛助会員(年間5,000円)。「環・太田川」の活動をさらに積極的に支援して頂く維持会員(年間10,000円)もご紹介します。

会費のお振込みは、郵便振替口座
01390-6-20356

「環・太田川」事務局へ
お問い合わせは 左記「環・太田川」編集会議住所・電話番号へお問い合わせ致します。パンフレットを送らせて頂きます。

「環・太田川」若鮎号(月刊)

2001.06.10 発行

(第二号)

「環・太田川」編集会議発行

〒733-0852

広島市西区鈴が峰町40-8-202

原 哲之 方

Tel・Fax 082-278-1044

H P アドレス:

<http://hiroshima.cool.ne.jp/>

kan_ootagawa/

年間購読 3,000円